

より良い公共交通を 市民に提供するために

総務経済委員会

【書面視察】

総務経済委員会では、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況から県外行政視察は中止し、4つの公共交通先進市（入間市・坂戸市・富士宮市・相模原市）への「書面視察」を実施しました。



令和元年10月公共交通先進市の視察のようす

【第四回定例会】

今議会では議案2件と請願1件の審査、及び市の地域公共交通の現状について所管事務調査を行いました。各委員より、様々な観点から、活発な質疑や意見交換がなされ、議案と請願の採決を行いました。



狭山市の公共交通

都市インフラ整備の促進

建設環境委員会

●建設環境委員会では、市道路線の認定にあたり現地を視察し、施工状況などを精査した後、委員会室において、各委員からの質疑を重ね、採決しました。

議案第101号は、都市計画道路路狭山市駅加佐志線の整備に伴う排水経路確保のための路線を、市道幹第94号線として認定する内容です。

狭山市駅加佐志線は、県道所沢堀兼狭山線から狭山市駅東口駅前へのアクセス道路として大変重要な道路です。



市道路線の認定箇所

令和5年の供用開始を目指し計画が進められており、道路からの雨水排水処理の課題を解決する必要があり、都市計画道路入間川入曽線の一部、延長約290mを排水経路とするため、用地取得に係る路線を認定するものであります。

雨水排水管は久保川へ接続し、その手前に調整池などを設けることで、久保川への負荷抑制も図る予定です。



現地での執行部説明のようす
(写真の右奥の場所が市道路線の認定箇所)

インフルエンザ予防接種に関する 接種環境の改善に向けて

文教厚生委員会

●市内の多くの医療機関でワクチン不足

埼玉県は10月から65歳以上の高齢者等に「インフルエンザ予防接種の自己負担分を全額補助する」とし、早期の予防接種を促す事業を開始しました。

これは、インフルエンザの症状が新型コロナウイルス感染症の症状と酷似している、医療現場ですぐに見分けることが困難であること、合併症の影響による重症化リスクが高いことなどが主な理由です。



埼玉県知事との意見交換のようす
(右から、西塚副委員長、笹本委員長、大野知事)

集中したためにワクチン不足に陥り、希望しても予防接種が受けられない状況がある、との市民の声が市議会に届いておりました。

●埼玉県知事へ意見書を提出

このため、委員会では所管事務調査を行い、その後に「インフルエンザワクチン予防接種に係る接種環境の改善及び補助事業対象期間の見直しを求める意見書」を委員会提出議案として本会議に提出し、全会一致で可決されました。



意見書を手渡す加賀谷議長(中央左)と大野知事(中央右)
(右から)中川県議、本木県議

市民にわかりやすい 議会運営をめざして

議会運営委員会

●反問権行使に係る現状と課題を先進市から学ぶ

令和2年11月9日、議員による質問や質疑の趣旨を確認するために執行部職員が行う質問(以下「反問」という。)がどのように活用されているかを調査するため、すでに導入され実績のある埼玉県所沢市議会を視察しました。

反問権とは、反問を行い、趣旨を確認することにより、論点・争点を明確にすることができ、権利であり、その行使によって、会議における議論が一層深まるとともに、これまで以上に市民にわかりやすい議会運営となることが期待されています。



所沢市議会視察のようす



所沢市議会視察のようす

もとより、議会が議論の場であるためには、議員と執行部が公平な立場であること、議員が質問や質疑の内容を十分に精査すること、執行部職員が質問や質疑の趣旨を明確に理解して的確に答弁することが求められます。

市民の負託を受けた議員が、会議における議論を通じてアクティブ(能動的)な政策議論を展開していくことこそ、市民に信頼される市議会の実現につながるものと考えております。